

庶務報告

(1) 会員の異動状況

	平成22年2月現在	平成21年2月現在	増減
名誉会員	53名(含国外20)	51名(含国外20)	+ 2
正会員	4,378名	4,366名	+ 12
外国会員	26名	26名	0
賛助会員	26社	26社	0
入会	正137名 賛助1名		
退会	正125名 (含除名69名) 賛助1名		

物故会員(順不同)-敬称略-

正会員 ささきけんじ いそ りょうすけ いたう たかのり うるしはら かつゆき おだ まさゆき
 佐々木健司、磯良輔、伊藤孝徳、漆原克之、小田正之
おもたかしゅんいちろう さだまつ しげあき つる みずき むとう やすお
 面高俊一郎、貞松繁明、津留水城、武藤靖雄

(以上 9名)

(2) 会議に関する事項

1. 理事会

平成21年度第1回 平成21年4月23日(木)

パシフィコ横浜 4F 『423』

議事 (1) 理事長の選出

平成21年度第2回 平成21年4月24日(金)

パシフィコ横浜 4F 『421』

議事 (1) 常任理事の選任
 (2) 専門医認定委員、委員長の指名
 (3) 各種委員会の委員長および担当理事の推薦
 (4) 認定施設認定委員の推薦
 (5) その他

平成21年度第3回 平成21年7月10日(金)

TKP日本橋ビジネスセンター カンファレンスルーム 1C

議事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 (2) 第18回基礎学術集会の件
 (3) 第53回総会・学術集会の件
 (4) 第19回基礎学術集会の件
 (5) 会務分担と各種委員会委員の調整
 (6) 平成21年度各種委員会活動方針並びに予算案の件

- (7) 各種委員会報告の件
- (8) 専門医統括会議からの報告
- (9) 会費滞納者除名に関する件
- (10) 新入会員・退会会員の件
- (11) 国際形成外科学会会費納入の件
- (12) その他

平成 21 年度第 4 回 平成 21 年 9 月 30 日 (水)

都市センターホテル 5 F 『スバル』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 18 回基礎学術集会の件
 - (3) 第 53 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 19 回基礎学術集会の件
 - (5) 第 52 回総会・学術集会の件
 - (6) 平成 21 年度会計中間報告の件
 - (7) 各種委員会報告の件
 - (8) 専門医統括会議からの報告
 - (9) 新入会員・退会会員の件
 - (10) その他

平成 21 年度第 5 回 平成 22 年 2 月 12 日 (金)

八重洲富士屋ホテル 3 F 『紅葉』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 18 回基礎学術集会の件
 - (3) 第 53 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 19 回基礎学術集会の件
 - (5) 第 54 回総会・学術集会の件
 - (6) 第 10 回 I P R A S ・ A P S の件
 - (7) 平成 21 年度収支見込決算ならびに平成 22 年度予算大綱の件
 - (8) 各種委員会報告の件
 - (9) 専門医統括会議からの報告
 - (10) 名誉会員推戴に関する件
 - (11) 評議員選挙管理委員会設置に関する件
 - (12) 会費滞納者除名に関する件
 - (13) 新入会員・退会会員の件
 - (14) その他

平成 21 年度第 6 回 平成 22 年 4 月 6 日 (火)

A N A クラウンプラザホテル金沢 2 F 『セラヴィ』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 53 回総会・学術集会の件
 - (3) 第 54 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 55 回総会・学術集会の件
 - (5) 第 19 回基礎学術集会の件
 - (6) 第 20 回基礎学術集会の件
 - (7) 第 21 回基礎学術集会の件
 - (8) 平成 21 年度会計決算報告ならびに平成 22 年度予算案の件
 - (9) 名誉会員等推戴に関する件

- (10) 各種委員会報告の件
- (11) 選挙管理委員会委員選出の件
- (12) 日韓形成外科学会の件
- (13) 日中形成外科学会の件
- (14) 除名に関する件
- (15) 新入会員・退会会員の件
- (16) 評議員提出議題の件
- (17) その他

2. 評 議 員 会

平成21年度定例評議員会 平成21年4月21日(火)

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3F 『ボールルーム』

- 議 事
- (1) 平成20年度年次報告の件
 - (2) 平成20年度収支決算の件
 - (3) 第55回(次々々期)総会・学術集会会長候補者選出の件
 - (4) 第21回(次々々期)基礎学術集会会長候補者選出の件
 - (5) 次期役員(理事・監事)候補者選出の件
 - (6) 平成21年度事業計画の件
 - (7) 平成21年度収支予算の件
 - (8) 次期専門医認定委員選出の件
 - (9) 評議員選挙施行細則、専門医制度細則、専門医生涯教育制度細則、ならびに各種委員会規定改定に関する件
 - (10) 倫理委員会規定に関する件
 - (11) 名誉会員推戴の件
 - (12) 第52回 総会・学術集会の件
 - (13) 第53回(次期)総会・学術集会の件
 - (14) 第54回(次々々期)総会・学術集会の件
 - (15) 第18回 基礎学術集会の件
 - (16) 第19回(次期)基礎学術集会の件
 - (17) 第20回(次々々期)基礎学術集会の件
 - (18) 日韓形成外科学会の件
 - (19) 日中形成外科学会の件
 - (20) 会費滞納者除名の件
 - (21) 評議員提出議題の件
 - (22) その他

3. 総 会

平成21年度通常総会 平成21年4月23日(木)

パシフィコ横浜 1F 『メインホール』

- 議 事
- (1) 平成20年度年次報告の件
 - (2) 平成20年度収支決算の件
 - (3) 平成21年度事業計画の件
 - (4) 平成21年度収支予算の件
 - (5) 評議員選挙施行細則、専門医制度細則、専門医生涯教育制度細則、ならびに各種委員会規定改定に関する件
 - (6) 倫理委員会規定に関する件
 - (7) 名誉会員承認の件
 - (8) 第52回 総会・学術集会の件

- (9) 第 5 3 回 (次期) 総会・学術集会の件
- (1 0) 第 5 4 回 (次々期) 総会・学術集会の件
- (1 1) 第 5 5 回 (次々々期) 総会・学術集会会長候補者承認の件
- (1 2) 第 1 8 回 基礎学術集会の件
- (1 3) 第 1 9 回 (次期) 基礎学術集会の件
- (1 4) 第 2 0 回 (次々期) 基礎学術集会の件
- (1 5) 第 2 1 回 (次々々期) 基礎学術集会会長候補者承認の件
- (1 6) 次期役員 (理事・監事) 候補者選任の件
- (1 7) 次期専門医認定委員承認の件
- (1 8) 日韓形成外科学会の件
- (1 9) 日中形成外科学会の件
- (2 0) 会費滞納者除名の件
- (2 1) 評議員提出議題の件
- (2 2) その他

事 業 報 告

(1) 第 5 2 回日本形成外科学会総会・学術集会

会 期：平成 2 1 年 4 月 2 2 日 (水) 2 3 日 (木) 2 4 日 (金)

会 場：パシフィコ横浜 (神奈川)

会 長：丸山 優 東邦大学医学部形成科学講座

下記の日本形成外科学会特別講演、招待講演、招待教育セミナー、教育セミナー、シンポジウム、パネルディスカッションが行われた。

【特別講演】 第 1 日 4 月 2 2 日 (水)
司会 杏林大学形成外科 波利井清紀

『直伝・本田流ものづくり』

カーデザイナー・元本田技術研究所専務取締役、多摩美術大学教授 岩倉 信弥

【招待講演】 第 1 日 4 月 2 2 日 (水)
司会 国際福祉大学形成外科 秦 維郎

『Orthognathic Surgery for Facial Asymmetry』

Yoon Ho Lee

Department of Plastic and Reconstructive Surgery,

Seoul National University, Korea

【招待講演】 第 2 日 4 月 2 3 日 (木)
司会 帝京大学形成外科 平林 慎一

『The Artistic Approach to Reconstruction of the Nose and Face』

Gary C Burget

Section of Plastic Surgery, University of Chicago, USA

【招待講演】 第3日 4月24日(金)
司会 東京女子医科大学形成外科 野崎 幹弘
『A Reflection on the Scope and Principle of Plastic Surgery』
David TW Chiu
Institute of Plastic and Reconstructive Surgery,
New York University Medical Center, USA

【招待教育セミナー】 第2日 4月23日(木)
司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平
『Salvage of Mutilated Extremity in Emergency』
Zeng Bing-fang
Department of Orthopaedic Surgery, Shanghai No.6 People's Hospital,
Jiao Tong University, P.R.China

【招待教育セミナー】 第2日 4月23日(木)
司会 金沢医科大学形成外科 川上 重彦
『New Trends in Liposuction and External Ultra-Sound of Fat Reduction』
Charles Yamaguchi
Clinica Charles Yamaguchi, SP Laser and Medical Center, Brazil

【教育セミナー】 第3日 4月24日(金)
司会 新潟大学形成外科 柴田 実
『血管柄付き腓骨移植術 - Knack & Pitfalls -』
奈良県立医科大学形成外科 矢島 弘嗣

【教育セミナー】 第3日 4月24日(金)
司会 川崎医科大学形成外科 森口 隆彦
『頭頸部領域の血管病変に対する血管内治療』
大阪府立医療センター脳神経外科 小宮山雅樹

【シンポジウム】 第1日 4月22日(水)
『QOLを考えた乳房再建術の適応と再建 strategy』
司会 神戸大学形成外科 田原 真也
岩手医科大学形成外科 小林誠一郎

- S -1 QOLを考えた乳房再建の適応と再建 Strategy
: 乳房再建アルゴリズムの策定
福岡大学形成外科 大慈弥裕之
- S -2 Skin-sparing mastectomy, nipple-sparing mastectomyと
一期的乳房再建
東京医科歯科大学形成外科 森 弘樹
- S -3 乳房一期再建の適応と限界 - 術後合併症からの検討 -
がん・感染症センター都立駒込病院形成外科 寺尾 保信

- S -4 QOL を考えた乳房再建術の適応と再建 strategy : 二次再建の場合
蘇春堂形成外科 野平久仁彦
- S -5 自家組織移植では muscle sparing TRAM が第一選択である
東北大学大学院医学系研究科形成外科 館 正弘
- S -6 QOL を考慮した乳房再建
- Expander/Implant による一期的 strategy -
東京女子医科大学東医療センター形成外科 本田 隆司
- S -7 乳房再建における complicated case とその strategy
ブレストサージャリークリニック 岩平 佳子
- S -8 乳房インプラントによる乳房再建 strategy
昭和大学形成外科 清水 祐紀

【シンポジウム】 第2日 4月23日(木)

『顔面皮膚軟部組織再建 - 外鼻、口唇を中心として - 』

司会 徳島大学形成外科 中西 秀樹
日本医科大学形成外科 百束 比古

- S -1 外鼻、上口唇基底細胞癌の治療指針 ~ 再発ゼロ & マスクゼロを目指す
神戸大学大学院医学研究科形成外科 寺師 浩人
- S -2 外鼻・口唇広範囲欠損に対する局所皮弁の適応と限界
札幌医科大学形成外科 四ツ柳高敏
- S -3 Unit 原理を用いた外鼻、口唇皮膚軟部組織再建の経験
東邦大学形成外科 荻野 晶弘
- S -4 島状皮弁による鼻と口囲の軟部組織再建
関西医科大学形成外科 楠本 健司
- S -5 形態と機能の再建の両立をめざした外鼻・口唇の再建
大阪医科大学形成外科 上田 晃一
- S -6 外鼻再建 ~ 外鼻広範囲欠損に対するわれわれの選択
藤田保健衛生大学形成外科 奥本 隆行
- S -7 Tongue flap による赤唇大欠損の再建
- Donor site の処理、移植法に対する我々の工夫 -
愛知医科大学形成外科 竹市 夢二

【シンポジウム】 第3日 4月24日(金)

『皮弁移植術を考える - 手技の再考・評価法の確立 - 』

司会 埼玉医科大学形成外科 中塚 貴志
北海道大学形成外科 山本 有平

- S -1 四肢皮弁再建後および皮弁採取部の評価
癌研有明病院形成外科 澤泉 雅之
- S -2 皮弁移植を考える - 手技の再考・評価法の確立 - 四肢の再建
国立がんセンター形成再建外科 櫻庭 実
- S -3 頭頸部再建における総合的評価方法の確立に向けて
岡山大学大学院医歯学総合研究科形成外科 木股 敬裕
- S -4 頭頸部癌術後患者の機能評価
愛知県がんセンター形成外科 兵藤伊久夫
- S -5 皮弁移植による乳房再建の術後評価について
獨協医科大学形成外科 朝戸 裕貴

S -6 皮弁移植を考える - 手技の再考・評価法の確立 - 乳房再建 : 集計
東京慈恵会医科大学形成外科 武石 明精

【パネルディスカッション】 第1日 4月22日(水)

『顔面神経麻痺の再建 - より自然な動きを求めて - 』

司会 東京大学形成外科 光嶋 勲
福島県立医科大学形成外科 上田 和毅

- P -1 顔面神経麻痺の再建 ~ より自然な動きを求めて ~
北海道大学形成外科 山本 有平
- P -2 神経・血管柄付き遊離筋肉移植術を用いた「笑い」の再建
杏林大学形成外科 多久嶋亮彦
- P -3 陳旧性顔面神経麻痺における笑いの再建 : 症例に応じた術式選択
東邦大学医療センター佐倉病院形成外科 林 明照
- P -4 多方向ベクトルを考慮した、複数の筋移植による機能的口唇再建
東京歯科大学市川総合病院形成外科 田中 一郎
- P -5 端側縫合と単一神経移植を組み合わせた顔面神経再建ならびに基礎研究
- 複数の neural source 利用に向けて -
大阪大学形成外科 松田 健
- P -6 中年以降の片側顔面神経麻痺に伴う麻痺性眼瞼下垂の治療プロトコル
東京大学形成外科 権太 浩一

【パネルディスカッション】 第1日 4月22日(水)

『形成外科医の好奇心 - 私が形成外科を選んだ理由と好奇心の持続 - 』

司会 藤田保健衛生大学形成外科 吉村 陽子
北里大学形成外科 内沼 栄樹

- P -1 形成外科医の好奇心 : 一般外科医から形成外科医へ
沖縄県立中部病院形成外科 石田 有宏
- P -2 麻酔科医から形成外科医に
金沢医科大学形成外科 山元 康徳
- P -3 頭蓋顔面、頭蓋底、唇裂手術への思い入れ、使命感とその持続
市立岸和田市民病院形成再建外科 久徳 茂雄
- P -4 形成外科医の好奇心 :
デザイン・インスパイアード・サージャリー、患者問題解決型のデザイン
東京医科大学形成外科 松村 一
- P -5 形成外科医としての35年、成り立ちと今日まで継続させたもの
慶應義塾大学形成外科 中嶋 英雄

【パネルディスカッション】 第2日 4月23日(木)

『漏斗胸再建の長期成績と展望』

司会 慶應義塾大学形成外科 中嶋 龍夫
昭和大学形成外科 保阪 善昭

- P -1 当科における漏斗胸手術の変遷と今後の展望
久留米大学形成外科・顎顔面外科 渡部 功一

- P -2 Nuss 法による再手術例と Nuss 法 bar 抜去例より見た
Nuss 法の長期成績と今後の展望
松山心臓血管病院胸部外科 笠置 康
- P -3 Nuss 法および Ravitch 変法による漏斗胸術後の長期成績と展望
- 手術の適応を考えて -
宝塚市立病院形成外科 黒川 正人
- P -4 漏斗胸術式による胸腔内臓器および胸郭形態への影響
- ラビッチ法とナス法との比較 -
長野県立こども病院形成外科 野口 昌彦
- P -5 漏斗胸再建の長期経過と展望 - 残存肋軟骨変形をどう考えるか -
岩手医科大学形成外科 木村 裕明
- P -6 女性漏斗胸患者での乳腺容積の左右差 - 非対称性陥凹との関連 -
川崎医科大学小児外科 中岡 達雄

【パネルディスカッション】 第3日 4月24日(金)

『外科美へのこだわりと私の基準』

司会 長崎大学形成外科 平野 明喜
自治医科大学形成外科 菅原 康志

- P -1 社会的コミュニケーション・ツールとしての外形美と
治療者としての関わり
自治医科大学形成外科 菅原 康志
- P -2 下顎骨再建における整容性の追求と治療における基準
- 「CAT分類」から「CATコンセプト」へ -
神戸大学大学院医学研究科形成外科 橋川 和信
- P -3 外見美へのこだわりと私の基準：「いいかげん」を求めて
ヴェリテクリニック 福田 慶三
- P -4 顎骨骨切り術と骨切り術後の修正における私のこだわり
長崎大学形成外科 平野 明喜
- P -5 顔の表情は眼が変える
富士森形成外科医院 富士森良輔

【パネルディスカッション】 第3日 4月24日(金)

『難治性下腿潰瘍の治療戦略』

司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫
京都大学形成外科 鈴木 茂彦

- P -1 増殖因子とコラーゲンスポンジ、湿潤環境下の治療の併用による
難治性下腿潰瘍の治療
札幌医科大学皮膚科 小野 一郎
- P -2 当科における重症下肢虚血難治性潰瘍の患肢温存への戦略
~ 大切断を余儀なくされた症例を検討して ~
特別・特定医療法人生長会府中病院形成外科 原岡 剛一
- P -3 糖尿病性足潰瘍の治療戦略 - 遊離筋皮弁と血行再建の適応とその実際
香川大学形成外科 田中 嘉雄
- P -4 静脈性潰瘍に対する治療戦略と遊離皮弁の意義および有用性
長崎大学形成外科 田中 克己

- P -5 下腿難治性潰瘍における大網の有用性
名古屋大学形成外科 鳥山 和宏
- P -6 我々の実施している難治性下腿潰瘍に対する集学的治療の実際と結果
日本医科大学形成外科 水野 博司

(2) 第 1 8 回日本形成外科学会基礎学術集会

会 期：平成 2 1 年 1 0 月 1 日 (木) 2 日 (金)

会 場：都市センターホテル (東京)

会 長：熊谷 憲夫 聖マリアンナ医科大学形成外科教授

下記の会長講演、特別講演、特別企画、教育セミナー、教育講演、シンポジウム、
パネルディスカッションが行われた。

【会長講演】 第 1 日 1 0 月 1 日 (木)

『今一度再生医療を振り返る』

聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫

招待講演の Yann Barrandon 先生がご病気にて欠席されたため会長講演になった。

【特別講演】 第 1 日 1 0 月 1 日 (木)

司会 大阪大学形成外科 細川 亙

『無血清培地で間葉系幹細胞の STEMNESS 分子機構を活性化する
：血清再生医療から無血清再生医療への転換』

広島大学医歯薬学総合研究科 口腔生化学 加藤 幸夫

【特別企画(第 1 部)】 第 2 日 1 0 月 2 日 (金)

司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫

特別企画 1 - 1 自家培養表皮ジェイスにおける構造タンパクの発現と

細胞シートの三次元的解析

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 田中 朋代

特別企画 1 - 2 自家培養表皮ジェイスに含まれる

表皮細胞以外の細胞種の定量解析

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 井家 益和

特別企画 1 - 3 自家培養表皮ジェイスに残留する抗生物質とコレラトキシンの

安全性評価；添加回収試験を踏まえた定量解析

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 蜷川 欣秀

【特別講演(第 2 部・特別講演)】 第 2 日 1 0 月 2 日 (金)

司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平

『日本における再生医療産業』

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 小澤 洋介

【教育セミナー】 第1日 10月1日(木)
 司会 福島県立医科大学形成外科 上田 和毅
 『難治性皮膚潰瘍、褥瘡、創傷などの、日々の治療効果確認加療の重要性の再確認
 と、保存的局所治療効果拡大の可能性を追求して。
 - 日常治療効果確認ツール「UNDER EYE」の紹介と活用、継続加療から得られる
 保存的治療効果拡大の実際 - 』
 聖隷浜松病院形成外科 中村 雄幸

【教育講演】 第2日 10月2日(金)
 司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦
 『ES細胞・iPS細胞由来組織幹/前駆細胞を用いた移植実験研究』
 聖マリアンナ医科大学 再生医学・免疫病態医学 鈴木 登

【シンポジウム】 第2日 10月2日(金)
 『体性幹細胞の臨床応用の現状と課題』
 司会 東京大学形成外科 高戸 毅
 東京女子医科大学形成外科 櫻井 裕之

- S - 1 難治性下腿潰瘍に対する新鮮自家骨髄移植による創床再生
 北海道大学形成外科 小浦場祥夫
- S - 2 生体外増幅血管幹細胞移植による新しい血管再生、潰瘍治療の臨床応用に
 向けての開発
 東海大学形成外科 田中 里佳
- S - 3 国内外における脂肪組織由来幹細胞の臨床応用の現状と課題
 日本医科大学形成外科 水野 博司
- S - 4 脂肪組織由来再生細胞による腹圧性尿失禁の細胞治療
 名古屋大学形成外科 鳥山 和宏
- S - 5 外傷性脊髄損傷治療への細胞移植ドナーとしての脂肪組織の利用
 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 武永美津子
- S - 6 放射線障害、H I V関連リポジストロフィー克服に向けて
 - 脂肪由来幹細胞移植の有効性 -
 長崎大学形成外科 秋田 定伯

【シンポジウム】 第1日 10月1日(木)
 『アンチエイジングの基礎と臨床』
 司会 大阪医科大学形成外科 上田 晃一
 湘南鎌倉総合病院形成外科 山下 理絵

- S - 1 ヒトプラセンタ抽出液による組織再生修復に関する検討
 昭和大学形成外科 加王 文祥
- S - 2 毛髪のアンチエイジング：培養細胞を用いた毛髪再生の試み
 東京大学形成外科 青井 則之
- S - 3 白血球含有多血小板血漿(W-PRP)を用いた
 アンチエイジング治療の基礎から臨床
 医療法人社団貴順会吉川病院美容皮膚形成 川添 剛

S - 4 眼瞼下垂度ソフトの開発と眼瞼下垂症への臨床応用
福岡大学形成外科 西平 智和

【パネルディスカッション】 第2日 10月2日(金)

『Scaffolds』

司会 近畿大学形成外科 磯貝 典孝
北里大学医療衛生学部 黒柳 能光

- PD - 1 外的吊上げによる組織増大は、可逆的であるが
scaffold 徐放化増殖因子によって維持することができる
東京大学形成外科 加藤晴之輔
- PD - 2 Functionalized scaffold(機能的担体)による
細胞の遊走、増殖、接着、分化への影響
昭和大学形成外科 加王 文祥
- PD - 3 塩基性線維芽細胞増殖因子保持機能を持つ Scaffold の開発
京都大学形成外科 神田 則和
- PD - 4 新しい脱細胞化技術の開発
小口径血管・末梢神経への応用と臨床への展望
神戸大学形成外科・美容医科 榊原 俊介
- PD - 5 細胞 scaffolds をつくるのか? In vitro と In vivo
矢永クリニック・組織再生研究所 矢永 博子

【パネルディスカッション】 第1日 10月1日(木)

『脂肪組織』

司会 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 武永美津子
日本医科大学形成外科 水野 博司

- PD - 1 術後の脂肪組織で何が起きているのか?
: 低酸素下での脂肪組織リモデリング
東京大学形成外科 菅 浩隆
- PD - 2 HIV 関連リポジトロフィー克服に向けて
- 移植脂肪の血流と生着率の関係評価のための動物実験モデル作成
北海道大学形成外科 大芦 孝平
- PD - 3 ヒト脂肪組織由来幹細胞と増殖因子を用いた組織再生と展望
関西医科大学形成外科 覚道奈津子
- PD - 4 脂肪組織内に局在する血液由来細胞(Resident blood cells)の分析
東京大学形成外科 江藤ひとみ
- PD - 5 脂肪組織を利用した再生医療の試み
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 太田 有紀

【パネルディスカッション】 第1日 10月1日(木)

『創傷治癒と培養表皮、培養真皮、人工皮膚』

司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 相原 正記
昭和大学形成外科 土佐 泰祥

- PD - 1 創傷治癒研究におけるヒト皮膚細胞を用いた人工皮膚モデルの有用性と問題点の検討
昭和大学形成外科 加王 文祥
- PD - 2 創傷治癒因子による脂肪由来幹細胞の活性化を利用した血管新生治療の開発
東京大学形成外科 江藤ひとみ
- PD - 3 同種培養表皮細胞移植による創傷治癒の促進
国立病院機構熊本医療センター形成外科 大島 秀男
- PD - 4 培養真皮および複合型培養皮膚の臨床応用
京都大学形成外科 森本 尚樹
- PD - 5 培養細胞を用いた創傷治療 - われわれの工夫と展望 -
東京女子医科大学形成外科 副島 一孝
- PD - 6 ヒアルロン酸とコラーゲンを基材とした同種培養真皮の特性
北里大学医療衛生学部 黒柳 能光

【パネルディスカッション】 第1日 10月1日(木)

『末梢神経再生・中枢神経再生』

司会 神戸大学形成外科 田原 真也
新潟大学形成外科 柴田 実

- PD - 1 ラットを用いた顔面神経麻痺に対する神経再建手術の効果についての検討
北海道大学形成外科・美容外科 七戸 龍司
- PD - 2 神経同種移植におけるシュワン細胞の遊走形態について
順天堂大学形成外科 林 礼人
- PD - 3 神経トレーサー法による新しい再生神経ネットワークの解析
神戸大学形成外科学・美容医科 榊原 俊介
- PD - 4 複数の neural source 利用に向けての神経移植法
：“bi-directional” nerve graft
大阪大学形成外科 松田 健
- PD - 5 ES細胞を用いた末梢神経再生 - ES細胞を運動ニューロンに分化させ移植し運動神経損傷後の筋萎縮を防ぐ -
大阪労災病院形成外科 久保 盾貴

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第29巻 2号	平成21年 2月	61頁	4,420部
第29巻 3号	平成21年 3月	93頁	4,430部
第29巻 4号	平成21年 4月	60頁	4,360部
第29巻 5号	平成21年 5月	55頁	4,420部
第29巻 6号	平成21年 6月	69頁	4,430部
第29巻 7号	平成21年 7月	53頁	4,420部
第29巻 8号	平成21年 8月	58頁	4,430部
第29巻 9号	平成21年 9月	75頁	4,450部
第29巻 10号	平成21年 10月	65頁	4,450部
第29巻 11号	平成21年 11月	59頁	4,450部
第29巻 12号	平成21年 12月	87頁	4,450部
第30巻 1号	平成22年 1月	44頁	4,440部

(4) Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery を発行した。

第43巻 1号	平成21年 4月	64頁	4,150部
第43巻 2号	平成21年 6月	56頁	4,150部
第43巻 3号	平成21年 8月	56頁	4,150部
第43巻 4号	平成21年11月	64頁	4,150部
第43巻 5号	平成21年12月	56頁	4,150部

(5) 春季学術講習会及び秋季学術講習会を下記のとおり開催した。

1. 春季学術講習会

日 時；平成21年4月21日(火)午後1時00分～午後5時00分

会 場；パシフィコ横浜 会議センター5F『501+502』

テーマ1；先天異常(唇裂・口蓋裂と手・足を除く)

題目および講師

1) 頭蓋顎顔面の先天異常	佐賀大学形成外科	上村 哲司
2) 耳介の先天異常	札幌医科大学形成外科	四ツ柳高敏
3) 体幹の先天異常	福島県立医科大学形成外科	梶川 明義
4) 体表先天異常における遺伝学の基礎	神戸大学小児科	松尾 雅文

テーマ2；医療安全

5) 医学安全対策システムの有効性	東邦大学医療センター大橋病院第3外科	長尾 二郎
-------------------	--------------------	-------

2. 秋季学術講習会

日 時；平成21年9月30日(水)午後12時30分～午後4時45分

会 場；都市センターホテル 3F『コスモスホール1』

テーマ1；医療安全

題目および講師

1) 臨床研究の倫理的配慮：「臨床研究に関わる倫理指針」をうけて	聖マリアンナ医科大学薬理学	小林 真一
----------------------------------	---------------	-------

テーマ2；外傷

2) 熱傷の全身管理	大分アルメイダ病院形成外科	橋本 裕之
3) 熱傷の局所治療	函館中央病院形成外科	木村 中
4) 顔面の外傷	香川大学形成外科	田中 嘉雄
5) 四肢の外傷	大津赤十字病院形成外科	石川 浩三

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成21年度専門医合格者氏名(受付順敬称略)

上村由美子	西尾 明子	彦坂 信	鈴木 収二	佐々木 薫
高梨 昌幸	諸岡 久香	素輪 善弘	渡辺 頼勝	泉 彰典
長島 史明	石川こずえ	牛尾 茂子	松岡 伯	佐藤 真嘉
亀山 誠	奥田 貴久	樫山 真紀	李 陽成	須田 徹也
佐次田保徳	加治佐卓也	大澤 栄作	吉牟田浩一郎	田中 里佳
大西 智子	三宅ヨシカズ	菅谷 文彦	長尾 聖子	小泉 拓也

塩沢 啓	西田 美幸	田中 義人	高橋 猛	高成 啓介
小林 理恵	齊藤 計太	河原崎彩子	笹原資太郎	白石 知大
徳力 俊治	小林 よう	江野尻竜樹	神田 郁乃	平田 晶子
畔 熱行	神野 千鶴	森下 剛	佐藤 誠	今井 智浩
望月 祐一	細谷 優子	宮田弥千代	室 孝明	松本 大輔
小平 聡	大芦 孝平	黒川 憲史	金澤 成行	高橋 誠
弓削 俊彦	芳原 聖司	田牧 聡志	福司山洋美	飯沼 義博
鈴木 良典	備前 篤	高野 敏郎	西平 智和	小島 正裕
益田 俊明	村田八千穂	塗 隆志	佐藤 隆悟	永田 育子
小宮 貴子	岡 潔	久保 和之	小川 晴生	于 あかね
宮永 亨	山本 純	清水 梓	柏木 圭介	藤原 敏宏
和田 仁孝	山路 佳久	米谷あずみ	大江 恵	権東 容秀
橘田絵里香	原 舞	林 菜穂子	大谷 一弘	赤石 諭史
松谷 崇弘	栗田 昌和	川手 浩史	手塚 崇文	中島 弓子
西 建剛	藤澤 大輔	玉井 求宜	伊藤 蘭	山下 修二
此枝 央人	野村 紘史	加藤 敏次	藤山 浩	佐藤 知穂

合計 110名 (応募者 145名)

(7)日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成22年度新認定施設名

【地区】	【施設名】	【登録番号】
北海道	KKR札幌医療センター斗南病院	10-1025-000
東北	石巻赤十字病院形成外科	10-2030-000
関東	千葉県救急医療センター形成外科	10-3120-000
中部	市立島田市民病院形成外科	10-5073-000
	西尾市民病院形成外科	10-5074-000
	愛知県厚生連海南病院形成外科	10-5075-000
	順天堂大学医学部附属静岡病院形成外科	10-5076-000
関西	京都桂病院形成外科	10-6078-000
	大阪労災病院形成外科	10-6079-000
	りんくう総合医療センター市立泉佐野病院形成外科	10-6080-000
	大阪府立母子保健総合医療センター形成外科	10-6081-000
	国立病院機構京都医療センター形成外科	10-6082-000
九州	新日鐵八幡記念病院形成外科	10-8059-000
	大分三愛メディカルセンター形成外科	10-8060-000
	社会医療法人敬和会大分岡病院形成外科	10-8061-000

(8)日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A)平成22年度専門医更新者氏名(順不同敬称略)

平本 道昭	平 通也	石川奈美子	倉田莊太郎	木村 得尚
志賀潤一郎	伊藤 嘉恭	鈴木 肇	植村富美子	福士 信哉
岡崎 英登	小南 ちひろ	大城 貴史	堤 正彦	戸田 千綾
井手 義登	田村 明美	原島 要人	藤井 芳郎	藤岡 正樹
野崎 幹弘	藤原 一人	西堀 公治	梶川 明義	松井 潔
田井 良明	田中 和行	大浦 紀彦	石郷岡規久子	秋岡 二郎
星 榮一	藤林 久輝	貴志 和生	東山 玲子	市川 寛
青柳 文也	矢野 美樹	坂井 庸子	橋爪 慶人	矢高 森人
當山 護	山元 康德	留守 祥子	樋口 良平	山口 博
中島 龍夫	古市 浩美	丸山 成一	宇井 謙二	吉澤 直樹
有賀 昭俊	夫 一龍	田中 文	橋本 裕之	多田 英之
木下 行洋	福嶋 佳純	林 寛子	吉村浩太郎	江頭 通弘
棚平 晃	杉山 敦樹	黒木 知子	小坂 正明	山内 俊彦
陣内 卓雄	高田 温行	藤田 忠義	清川 兼輔	金澤 浩之
西村 善彦	末延 耕作	藤森 靖	鍵本 慶子	高橋美有生
藤田 晋也	益岡 弘	榎 栄治	東山 卓嗣	中川 雅裕
添田 周吾	市田 祐之	蛭沢 克己	水谷 次郎	長瀬 敬
平山 峻	山城 薫	藤原 修	石井 美夏	森 浩
菅原 光雄	大島 秀男	宮下 協二	國分 一郎	島倉 康人
塩谷 信幸	林 大海	松下 博明	浜口 雅光	酒井 直彦
丸毛 英二	田幡由希子	渡辺 克益	福積 聡	太田 栄一
三宅伊豫子	水野 清行	阿部 清秀	有働 幸弘	西海 智子
冬木 伸做	矢澤 真樹	中嶋 英雄	好田 隆是	北村 孝
杉本 孝郎	堀尾 修	佐野 進	長谷川時生	柴田 実
南條 文昭	板谷 純幸	澤田 正樹	深江 英一	石井 義輝
牧野 睦生	間藤 尚美	白田 俊和	竹市 夢二	岸 陽子
伊藤 仁	藤田 研也	松本 敏明	藤原 健志	樋上 敦
新井 克志	真鍋 剛	薬丸 洋秋	新家佳代子	清水 隆司
前 興治	小林 朋子	石川 浩三	月野 暁彦	原 陽一郎
黒田 正名	村尾 尚規	吉田 豊一	川上 孝一	藤井俊一郎
谷口 昌	大守 誠	皆川 英彦	小林 正弘	権 成基
富士森良輔	綾部 忍	水上健之亮	高見 昌司	大島 淑夫
安田 勝	林 礼人	光嶋 勲	鈴木 康俊	堤田 新
岡本 雄三	山本 康	後藤まゆき	水野 寿子	宮本 洋
岡 一郎	醍醐 佳代	中村 雄幸	太宰 聖志	村澤 章子
森 成一郎	木塚雄一郎	菅野 弘之	島本 良子	斎藤 昌美
夏目 恵治	皆川 知広	坂東 行洋	川那部岳志	石黒 匡史
松田 健	山田 潔	朴 修三	向田 雅司	横井 克憲
扇 博之	内藤 素子	三好 研造	辻田(久徳)美樹	舟山 恵美
橋本 信子	内田源太郎	大村 勇二	松尾 琴美	浜崎多美子
野田 宏子	河野 克之	星 光聡	田辺 敦子	小山 明彦
亀井 康二	清水 弘則	長谷川 隆	荻野 浩希	河合 佳子
高橋 元	中野 基	木下 淳	水野 博司	横山統一郎
大祢 廣伸	橋川 和信	井上要二郎	丸山百合子	手塚 敬
竹内ひろみ	上出 泰夫	桜井 信彰	秋山 太	北澤 健
堂園 哲郎	野村 正	伊藤 正彦	山本 博	千葉 容子
豊田 宜男	丹代 功	笹本 良信	時岡 一幸	新濱 明彦

吉川 哲哉
藤井 暁

奥村 千香
山本 慶輝

三川 信之
松崎 恭一

斎藤 篤志
嘉鳥 信忠

高野 淳治
若見 暁樹

以上 245 名 (申請者 330 名)

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第 11 条並びに専門医制度細則
第 29 条第 4 項により専門医資格を取り消される者 (順不同敬称略)

該当者なし

(9) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：中塚 貴志

委員：川上 重彦、平林 慎一、細川 亙、丸山 優

開催年月日：メール委員会

主な議題：1. 平成21年度収支決算
2. 平成22年度予算案について

活動の概要：1. 本部会計の逼迫を踏まえ、各支部に支部会計、特に余剰金に関するアンケートを行った。
2. 平成21年度収支決算、平成22年度予算案について確認を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：鈴木 茂彦

担当理事：中塚 貴志

委員：秋元 正宇、井砂 司、上田 和毅、内沼 栄樹、大西 清
亀井 譲、小坂 正明、多久嶋亮彦、館 正弘、田中 一郎
田中 嘉雄、寺師 浩人、土佐 泰祥、平野 明喜、松村 一
三鍋 俊春、吉本 信也

開催年月日：平成21年10月1日 平成21年12月5日
平成22年1月22日・23日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査
2. 専門医認定審査
3. 平成22年度の審査に関する検討
4. その他

活動の概要：1. 専門医申請者145名に対し、平成21年12月5日に都市センターホテルにて提出書類による資格審査を行った。
2. 資格審査で問題がありとされた申請者からの弁明に対し、メール委員会を開き審査した。
3. 資格審査合格者141名に対し、平成22年1月22日・23日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。
4. 専門医認定試験最終結果
専門医申請者：145名
書類審査不合格者：4名
筆記・口頭試問試験不合格者：30名
欠席：1名
専門医認定試験合格者：110名
5. 前年同様医療問題を1問出題した。また記述式問題を1問出題し、採点には加えないが、口頭試問の際の参考とした。
6. 専門医の筆記試験の採点について、器械による採点・集計を

試用し精度が確認されたので、次年度から器械による採点・集計を行うことになった。

7. 手引きおよびホームページ上の申請書記入上の注意の文言について前年度委員会にて、訂正を申し送られた部分は原則そのまま訂正した。ただし「9. 申請書類記入上の注意 c)10 症例 13)皮膚移植は、採取皮膚の厚さ、採皮部の術後の状態が分かるように説明か写真を貼付して下さい。」を「13)皮膚移植(分層)は、採取皮膚の厚さ、採皮部の術後の状態が分かるように写真(術後6ヶ月以上)を貼付して下さい。」に変更するという部分については、平成21年度受審者に関しては周知期間が短くなるので、昨年度通りとし、来年度からの受審者に対して、平成22年1月以降の手術については採皮部の術後の状態が分かるように写真(術後6ヶ月以上)を貼付することとし、ホームページ上で前もって案内することとした。分層採皮部以外の組織採取部も原則として同様の扱いを行うこととした。
8. ホームページでは「専門医一覧」という項目しかなく、専門医申請に関する情報がどこに記載されているかが会員に分かりにくいいため、「専門医について」という項目に変更していただくよう、渉外・広報委員長に依頼した。
9. 平成22年度の専門医審査申請者の数の見込みに関して調査した。平成22年度の専門医申請者数は、少なくとも200名以上、多ければ300名程度になることが予想される。そのため、認定審査書類提出期間を2週間ほど早くし、書類審査日程を2日間確保し、また口頭試問を2日間にわたり行う予定とした。受審者には早急に知らせる必要があるので、会誌3月号に第一報を会告した。詳報は4月号に記載する。また通常会告している5月号にも会告する。ホームページ上にもアップした。認定施設、教育関連施設にはメールでも知らせた。
10. 骨に侵襲の及ぶ症例の術後のX線写真についても臨床写真と同様に術後6か月以上経過したものが望ましいという議論がなされた。
11. 専門医の筆記試験問題を今より難しくする必要があるとの方向で意見がまとまった。
12. 現在は初期研修医がローテーションで形成外科研修を行っても、その症例は専門医申請用症例として使用できないが、平成22年度の新研修医から2年目の選択科目が11か月間認められるようになるのに際し、11カ月継続して形成外科研修を選択した場合、その期間の症例を専門医申請に使えるようにするかどうかについて検討中である。

2010年度(第33回)日本形成外科学会専門医認定審査についての公示(第1報)

社団法人日本形成外科学会理事長 中西 秀樹
専門医認定委員会委員長 鈴木 茂彦

2010年度日本形成外科学会専門医認定審査に関しまして、受審者の大幅増加が予想されることから以下の事項が変更されますので、ご留意下さいますようお願いいたします。

1) 専門医申請書の請求期間

審査の際には、所定の用紙を使用しますため申請書をご請求頂きますが、その期間が今年度は2010年8月16日(月)～10月15日(金)に変更になります。

2) 専門医受審者の資格

専門医受審者の資格は、以下の日本形成外科学会専門医制度細則第18条を充足する医師とします。

6年以上日本国医師免許証を有するもの

臨床研修2年の後、資格を有する研修施設において通算4年以上の形成外科研修を行うこと。

4年以上ひきつづいて日本形成外科学会正会員であること

第19条に定める研修を修了し、第20条に定める記録を有するもの

日本形成外科学会主催の講習会(学術研修会あるいはインストラクショナル・コース)受講証明書を4枚以上有すること

研修の年限は書類提出締め切り日より逆算して下さい。有資格者のリストアップと通知は行いませんのでご注意下さい。

3) 書類提出期間

今年度は2010年9月16日(木)～11月10日(水)に変更になります。**締め切り必着です。**

4) 試験日および試験場(3日にわたって審査を行います)

筆記試験

2011年1月20日(木)午後2時30分開始予定

ホテルニューオータニ

東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL03-3265-1111

地下鉄丸の内線・銀座線・赤坂見附駅下車3分

口頭試問(各受審者は2日の内、いずれかの日が割り振られます)

2011年1月21日(金)～22日(土)午前8時00分開始予定

ホテルニューオータニ

東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL03-3265-1111

地下鉄丸の内線・銀座線・赤坂見附駅下車3分

その他、専門医受審者の条件等につきまして次頁に、書類請求、申請方法など詳細は会告として4月号に掲載いたします。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：吉村 陽子

委員：阿部 清秀、飯田 直成、岡 博昭、垣淵 正男、河合 勝也
中束 和彦、朴 修三、湊 祐廣、宮坂 宗男

開催年月日：平成22年2月7日（更新審査委員会）、その他適宜メール委員会

主な議題：1. 専門医資格更新審査
2. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査
3. 学術集会（研究会等）新規登録申請に対する審査
4. 今後の問題点について

活動の概要：1. 専門医資格更新申請の手引きを、メール委員会で確認した。

2. 専門医資格更新審査を行った。

1) 専門医資格更新審査の該当者は273名で、更新を承認されたものは200名、書類不備により返却し追加書類などの提出により更新を認めたもの10名、留保8名、未提出47名、住所不明者2名、除名者1名であった。

2) 資格更新点数免除者について

専門医資格更新点数免除の該当者は57名で、更新を承認されたものは33名、診療実績記録の添付がなく追加提出をお願いしたもの2名（1名は提出により更新、他の1名は更新辞退）、未提出18名、更新辞退者2名、逝去3名であった。

3) 留保申請について

留保願いは8件あり、6名は留学、1名は病気療養、1名は出産育児のため1年の留保が認められた。

4) 締め切り後に書類を提出した4名、参加章を指定の台紙に貼付して提出していない2名に関しては更新認定と同時に警告を送付した。

5) 自分は国際的にも活躍し、手術も沢山行っているのに、学会出席回数が足りないだけで更新できないのは制度がおかしい、と学会および委員会あての異議申し立てがあったが、6年に4回の学会出席が不可能とはいえないこと、例外は認められないことを理事会の承認を得て委員長名で返答した。

3. 委員会承認の学術集会・研究会の更新審査を行った。

1) 平成9年、平成15年(2回目の更新)と平成19年(1回目の更新)に承認されたものについて3年分のプログラム等を確認し、更新を承認した。

2) 「近畿手の外科症例検討会」は3年間の平均演題数が4回と少なかった。従来ならば回数を減らして平均演題数を10以上にしよう勧告してきたが、症例検討は頻回の開催が必要と思われるため、1回の点数を1点に減らし、年

間3回までの算定とすることとした。

4. 学術集会（研究会等）新規登録申請に対する審査について
 - 1) 「筑波大学形成外科同門会」「日本臨床毛髪学会」「日本顔面神経研究会」から新規登録申込があり承認して点数を付与した。
 - 2) 形成外科手術手技研究会より、会員数及び演題の増加を理由に出席点数の増加と発表点数の認可について依頼が来た。内容的に関連学会に匹敵すると認め、出席6点、演題発表筆頭者3点、共同演者2人まで1点とすることになった。
 - 3) ヨーロッパセクションの国際形成外科学会など、各地域の国際形成外科学会が生涯教育基準点数に該当がなかったため、「その他の国際形成外科学会(アジア太平洋地区、ヨーロッパ地区など)」の出席点は8点とすることになった。
5. 今後の問題点
 - 1) 上記3.の2)および4.の2)に関連して施行細則の文言変更が必要なため、理事会及び制度検討委員会に提案した。
 - 2) 更新の際、学会出席証明として学会参加章の原本を添付することが求められているが、研究費や出張費の支払いのため、施設より領収書の原本提出を求められる。委員会としては参加章のコピーは認められないため、問い合わせに対する統一見解として、領収書が必要な場合は施設に理由を話して交渉し、原本を返していただくように、と説明することとした。
 - 3) 診療実績には、褥瘡回診や手術の指導など、臨床に携わっていることを示せる内容があればよいものとする。
 - 4) 学会の「出席カード」を参加章として添付する例が数件見られたため、学術集会で必ず提出するよう手引きに記載することになった。また、参加章を紛失し、学会発表のプログラムコピーを出席点とカウントして提出する例があったが、出席点と発表点を別々に認めているため、参加章以外では出席点を認められないことを、手引きに注記することにした。
 - 5) 未承認になった学術集会、研究会について、手引きから削除されているため、何年まで承認されていたかを明記することになった。
 - 6) 来年度更新者から6年更新者と5年更新者(平成17年度専門医認定者)が混ざり、更新点数等も異なるため、手引きに

注記することになった。

4) 専門医試験問題作成委員会

委員長：佐藤 兼重

委員：宇田川晃一、岡崎 睦、貴志 和生、田中 克己、野平久仁彦、
浅井真太郎、大場 創介、緒方 寿夫、柏 克彦、門松 香一、
倉片 優、桑原 理充、櫻庭 実、澤泉 雅之、白壁 征夫、
堤田 新、西村 剛三、西本 聡、福積 聡、朴 修三、
三川 信之、山内 俊彦、若見 暁樹、渡邊 彰二 *下線は分野責任者

開催年月日：平成21年10月1日：委員全体会議

メール委員会：平成21年8月7日、10月15日、計数回

活動の内容：前委員会からの引き継ぎとしての本年度以降に向けての課題は次の通りであった。

1. 各分野の記述式問題の見直し

2. 解説文の検討

3. 新問題の追加

眼瞼のさん粒腫、麦粒腫、汗管腫

ニキビなどに関する問題、皮膚美容

検査法や診察法など診断に関する問題、創傷の処置法、消毒、止血、縫合手技などの一般的な事項

これを踏まえて

1. 各分野責任者と各分野担当委員の決定(平成21年7月)

2. 平成21年度版問題集CD-ROM(平成21年8月配布)から各分野ごとに活動を行った。

結果的には上記1.2.の項目が主となり、新規問題の作成までは至っていない。これは平成22年度の作業課題となっている。

5) 認定施設認定委員会

委員長：丸山 優

委員：朝戸 裕貴、上田 晃一、上村 哲司、小室 裕造、橋本 一郎
横尾 和久、四ツ柳高敏

開催年月日：平成21年10月1日 平成22年2月13日

その他メール委員会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の新規認定と更新認定

2. 2010年度開始の疾患データベース運用についての検討

3. その他

活動の概要：1. 認定施設は、新規申請15施設全てを認定した。更新は251施設中244施設を認定、5施設を教育関連施設への転換を承認し、2施設を取り消しとした。

教育関連施設は、新規申請23施設のうち22施設を認定した。教育関連施設美容外科は、新規申請1施設を認定した。

更新は167施設中教育関連施設美容外科2件を含む146施設を認定し、13施設を認定施設への転換を承認、8施設

を取り消しとした。

2. 2010年度開始の疾患データベース運用に伴う問題点について検討した。

規約変更(平成21年度総会にて承認済み)

第32条(申請資格)

(6)形成外科手術が、以下の項目のうち8項目中5項目以上を含む内容であること。ただし、・・・(以下略)

- (1)外傷 (2)先天異常 (3)腫瘍
- (4)癒痕・癒痕拘縮・ケロイド (5)難治性潰瘍
- (6)炎症・変性疾患 (7)美容(手術のみ)
- (8)その他(レーザー含む)

手引きの変更

認定施設の条件が「形成外科手術が8項目中5項目以上の内容であること、さらに手術件数が9件以下の項目が3項目以内であること」になる。

救済策

- 1)患者より登録拒否の申し出があった場合はデータに反映されないため、その申告方法について検討した。登録入力前の場合、年次報告書欄外にその未登録分を記載し、理由書とともに提出してもらう。登録後の場合、登録情報の削除処理後、年次報告書欄外に登録削除した数字を記入し、理由書とともに提出してもらう。
- 2)倫理委員会をパスしなかったなどデータベースを利用できない施設の年次報告書提出については、倫理委員会からの未承認証明書、理由書とともに紙媒体で年次報告書を提出してもらうことにした。

2010年度施設認定の会告について

手引きの変更や年次報告書の提出方法など変更事項が多いので、会告を適宜掲載することにした。

3.その他

新規の認定施設申請書には、「臨床研修病院またはそれに準ずる総合的な病院(ある・ない)」という設問があるが、これを「臨床研修病院で(ある・ない)」「総合的(300床以上)な病院で(ある・ない)」の二つに分けることにした。

6)学 術 委 員 会
委 員 長：柴田 実

委 員：赤松 正、秋田 定伯、石田 有宏、井上要二郎、梶川 明義

柏 克彦、河合 勝也、木村 中、九徳 茂雄、櫻井 裕之
武田 啓、飛澤 泰友、中岡 啓喜、西野 健一、野瀬 謙介
橋川 和信、橋本 裕之、深水 秀一、本田 隆司、松浦慎太郎

水野 博司、森岡 康祐、渡辺 克益

開催年月日：平成21年 4月22日 平成21年 9月30日

メール委員会随時

- 主な議題：1. 春季学術講習会開催の件
2. 秋季学術講習会開催の件
3. 学術奨励賞候補論文選定の件

- 活動の概要：1. 平成21年4月21日、春季学術講習会をパシフィコ横浜で開催した。参加申込は378名であった。
2. 平成21年9月30日、秋季学術講習会を都市センターホテルで開催した。参加申込は289名であった。
3. 平成21年度学術奨励賞候補論文を理事会に上申し、以下の2編が学術奨励賞に決定した。

《学術奨励賞》

・久保 盾貴 (大阪労災病院形成外科)

“Embryonic Stem Cell-Derived Motor Neurons Form Neuromuscular Junctions In Vitro and Enhance Motor Functional Recovery In Vivo”
Plast Reconstr Surg 123: 139-148, 2009.

・永竿 智久 (慶應義塾大学形成外科)

“漏斗胸手術に伴う胸郭形態変化の予測システムの開発”

日形会誌 29: 412-420, 2009.

<ガイドライン作成部会>

部会長：小林誠一郎

委員：秋元 正宇、天方 将人、江口 智明、緒方 寿夫、清川 兼輔
清澤 智晴、楠本 健司、菅原 康志、寺師 浩人、仲沢 弘明

開催年月日：平成21年4月23日

- 主な議題：1. ガイドライン作成の手順、方針について
手引きを作成する。
2. 他学会とのガイドライン作成の連携について
関連学会と密な連携の元、学会相互に対象疾患を分担して、迅速な作成ガイドラインの集積を推進するため、日本創傷外科学会や日本頭蓋顎顔面外科学会との協議をすすめる。
3. 委員会の作業について
委員会の作業内容は、内容の吟味に加え、文献の妥当性、体裁の不備などとする。なお、座長が取りまとめた発表内容のポリシーを尊重することとした。
4. 作成疾患の確認
アンケート結果に基づき次期総会シンポジウムの課題について検討した。
5. エビデンスレベルと推奨度について

開催年月日：平成21年10月1日、2日

主な議題：CQ作成の説明会、ガイドライン作成の手引きについての説明会

開催年月日：その他メール委員会複数回

主な議題：1. ガイドライン作成の手引き案について

2. 手引きの改訂について

- 活動の概要：1. ガイドライン作成手引きの作成と委員への説明。
2. ガイドライン作成項目の選択と作成者の選出。
3. 文献検索の方法についての手順を作成した。

<用語部会>

部会長：柴田 実

委員：梅田 整、菊池 雄二、木村 得尚、田中 一郎

活動の概況：形成外科用語集第5版は、平成21年4月の総会時より販売を開始した。

今後は用語集を発行せず医学会発行の用語集に収載する予定で日本医学会と打ち合わせ作業中である。

7) 機関誌編集委員会

委員長：細川 互

委員：秋月 種高、石川 浩三、市岡 滋、稲川 喜一、今井 啓介
上田 晃一、梅田 整、梶川 明義、久保 盾貴、久徳 茂雄
光嶋 勲、櫻井 裕之、菅又 章、寺師 浩人、土佐 泰祥
鳥山 和宏、中岡 啓喜、永竿 智久、西本 聡、橋本 裕之
本田 隆司、松尾 清、松崎 恭一、水野 博司、矢野 浩規
杠 俊介、吉岡 伸高、吉龍 澄子、吉村浩太郎、米原 啓之
力丸 英明、若見 暁樹

開催年月日：平成21年10月2日、

平成21年11月25日（メール委員会）

平成21年12月3日（メール委員会）

- 主な議題：1. 総会・基礎学術集会抄録掲載の件
2. 投稿・査読オンライン化について
3. 邦文論文の2次出版について

活動の概要：1. メディカルオンラインへの総会・基礎学術集会抄録の掲載において、その訂正は演題の取り下げのみにすることとした。

2. 投稿・査読のオンライン化を決定した。

3. 現規定のままでは邦文論文の2次出版は認められないものと判断したが、規定の変更によりこれを認めるか否か今後の検討事項とした。

4. 平成21年（1～12月）の投稿状況と査読結果

投稿論文数 137篇

掲載決定 80篇

却下 4篇

取り下げ 2篇

査読・訂正中 51篇（平成22年2月8日現在）

8) 渉外・広報委員会

委員長：山本 有平

委員：赤松 正、今井 啓道、江尻 浩隆、小川 令、荻野 晶弘
小山 明彦、栗田 昌和、島田 賢一、菅原 康志、橋川 和信

林 礼人、富士森英之、松田 健、三鍋 俊春、元村 尚嗣
森 弘樹、山田 潔

開催年月日：平成21年 8月22日、平成10月 1日

主な議題：日形会ホームページのリニューアル

活動の概要：第1回 Home Page Editorial Meeting 開催（2009/08/22）

日本専門医制評価・認定機構-Japanese Board of Medical Specialties-認定団体：基本領域の学会、Subspecialityの学会、横断的な学会等のホームページから、優秀なものを選択し、各責任委員が担当して、日形会ホームページとの比較検討。

第1回委員会開催（基礎学術集会時：2009/10/1）

【新コンテンツ】作成

トップページ

1. イメージ（Flash、GIF、スイッチ）：Ptのsmile ディソルブ
2. 3つのメインメニュー：一般向け 会員向け 研修医・医学生向け
3. 学会のポスター：総会・学術集会、基礎学術集会の会長に依頼～バナーポスター作成～2011年総会 中西会長から
4. お知らせ：一般のみなさまへ、会員のみなさまへ
5. バナー広告：克誠堂、文光堂、全日本病院出版協会、永井書店（アフィリエイト～形成外科関連書籍の一覧・注文）～承諾
6. 日形会50年の歩みmovie～DVD保管
7. 事務局情報～春恒社依頼

一般向け

1. 一般の皆様へ
2. 市民公開講座、マスコミ（新聞・テレビ）の記事：リンクを張る～会員へ公募
3. 疾患紹介「こんな病気を治します！」：プロによるカラーイラスト掲載 出版会社に依頼
4. 形成外科専門医とは：専門医の説明文（厚労省）
5. 専門医検索
6. 認定施設、教育関連施設一覧：日本のマップから（Google Map）
7. 関連学会：簡単な紹介文、ロゴ、リンク（頭蓋顎顔面、創傷、美容、口蓋裂、マイクログ、皮膚悪性腫瘍、レーザー、熱傷、手の外科～点数にあげられている学会）
8. 各施設のガイドブック、疾患紹介一覧：リンクを張る～会員へ公募
9. 健康保険・育成医療

会員向け

1. 学会紹介
2. 役員紹介：理事長挨拶
3. 委員会一覧・委員名簿
4. 専門医：一覧、申請・更新方法（臨床研修制度に伴う申請資格の変更etc）、生涯教育点数、教育目標
5. 会員一覧

6. 評議員選挙公示～春恒社依頼
7. 認定施設、教育関連施設一覧：日本のマップから（Google Map）
8. 日形会誌：インデックス～春恒社依頼
9. 英文論文（title & abstract）掲載～会員へ公募
10. プログラム：総会、基礎学術集会、支部学術集会・地方会～春恒社依頼
11. 開催学会情報：支部学術集会、地方会、関連国際学会
12. リンク：関連学会一覧（国内・海外） 各大学の教室 Journal 企業 その他団体など
13. 申請書類（ダウンロード）
14. 理事会議事録、事業計画書等概要一式
15. 会告～時系列

研修医・医学生向け

1. イメージ（Flash、GIF、スイッチ）：形成外科医のsmile ディソルブイメージ
2. 形成外科で扱う疾患
3. キャリアパス
4. Q&A
5. 「専門医になるにはどうするの？」
～専門医制度、専門医教育目標、各領域（subspeciality）の専門医・指導医制度
6. 入会案内～春恒社依頼

今後の予定：

2010年 1月末 コンテンツ収集完了 予算申請（理事会）

2010年 4月（総会） 予算決定（理事会）、Webデザイン業者決定：見積もり

2010年 9月 仮ホームページ公開

2010年10月（基礎学術集会） 新ホームページ最終チェック

2011年1月1日 新ホームページ公開

9) 国際委員会

委員長：小林誠一郎

委員：磯貝典孝、光嶋勲、佐藤兼重、永竿智久

開催年月日：平成21年10月2日、その他メール委員会

主な議題：1. 国際学会の開催案内について

2. 日中および日韓形成外科学会の今後について

活動の概要：1. 関連国際学会については、出来る限り掲載してゆく。

2. 日中および日韓形成外科学会については、合同開催等を含め理事会の協議要望事項として上申する。

10) 社会保険委員会

委員長：内田満

委員：相原正記、井上邦雄、岩澤幹直、宇田川晃一、大久保文雄

大西清、大場創介、荻野浩希、金子剛、島田賢一

関口順輔、瀬崎晃一郎、田中嘉雄、鳥山和宏、西村剛三

二ノ宮邦稔、深水秀一、前川二郎、湊祐廣、村上正洋

村上隆一、吉田哲憲

開催年月日：平成21年4月23日（全体）、平成21年7月4日（在京）

平成21年9月5日（在京）、平成21年10月1日（全体）

平成21年12月5日（在京）、平成22年3月6日（在京）

その他 適宜 e-mail 委員会

活動の概要：1. 診療報酬改定

保険未収載で新設を要望した8項目のうち、局所陰圧閉鎖処置が認められた。また、同一手術野で100%合算可能な手術として神経移植術が認められた。

保険既収載で改正を要望した5項目のうち、顎・口蓋裂形成手術における両側手術時の点数加算、口唇・舌小帯形成手術の増点が認められた。分層植皮術は一部減点、一部増点となった。

皮膚移植術（死体）が新設されたが、点数は要望より低く、採取・保存の費用は認められなかった。

下顎関節突起骨折観血的手術 1. 片側 2. 両側が新設となった。

形成外科関連手術181項目中約100項目で増点となった。これは外保連試案で技術度D（経験年数15年、Subspeciality領域の専門医更新者や指導医レベル）、技術度E（経験年数15年、特殊技術を有する専門医）の手術が評価されたため。例としては

- K003 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部） 2 .
長径 3cm 以上 6cm 未満 3 . 長径 6cm 以上
- K017 遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの）
- K020 自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）

悪性黒色腫のセンチネルリンパ節生検における色素 2 種類、RI コロイド 2 種類が薬事承認され、K007 皮膚悪性腫瘍切除術の加算として先進医療を経て保険収載された。

日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）を通じて、3 歳以上 6 歳未満の乳児に対して手術を行った場合の 50% 加算を要望し、認められた。

2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

下記のメンバーで活動を行った。

8 月 27 日に厚生労働省の医療技術評価のヒアリングに出席した。

- 常任委員：関口 順輔、金子 剛
- 総務委員会：関口 順輔
- 実務委員会：大西 清
- 手術委員会：金子 剛、二ノ宮邦稔
- 処置委員会：関口 順輔（委員長）、荻野 浩希
- 検査委員会：二ノ宮邦稔、荻野 浩希
- 広報委員会：金子 剛

コーディングワーキング・グループ：相原 正記

手術試案をより精緻化する目的で、新たな手術手技のコーディングの構築を行った。操作対象部位、基本操作、操作対象組織・物、操作補助器械、アプローチ方法、アプローチ補助器械を要素としたものとなり、現在より項目が大幅に増加される。手術試案第 8 版より使用予定。

医療材料・医療機器ワーキング・グループ：前川 二郎
医療材料 1、2a、2b、2c の基本的な考え方を確認した。医療材料 1 について各学会から提出されたキットのとりまとめを行った。形成外科からは植皮、皮弁形成、顔面腫瘍の 3 キットを申請し、了承された。今後手術コーディングに合わせて、医療材料 1 のコーディングを行う。

3. 日本医師会疑義解釈委員会関連（金子委員）

局所陰圧閉鎖処置の保険収載が認められた。（J003 新設）

4. 先進医療専門家会議、高度医療評価会議関連（金子委員）

悪性黒色腫のセンチネルリンパ節生検における色素 2 種類、RI コロイド 2 種類が薬事承認され、高度医療から先進医療に変更された。（K007 注の新設、前出のとおり）

5. D P C 関連

厚生労働省保険局医療課 MDC 毎作業班に以下のメンバーで参加して、診断群分類の適正化に努力した。

MDC1 神経, MDC2 眼: 大久保文雄

MDC7 筋骨: 二ノ宮邦稔

MDC8 皮膚: 相原正記

MDC9 乳腺: 貴志和生

MDC14 先天異常: 宇田川晃一

MDC16 外傷その他: 金子 剛(班長)、井砂 司、秋元正宇

6. 日本小児期外科系関連学会協議会 (JPASS) 関連 (金子委員)
3歳以上6歳未満の乳児に対して手術を行った場合の50%加算を要望し、認められた(前出のとおり)。JPASSには社保委員会外より鈴木啓之先生が参加。

7. 広報活動

日本形成外科学会ホームページに、平成22年度社会保険形成外科診療報酬早見表(暫定版)を2月末に掲載した。

社会保険委員会報告(セミナー)を第53回日本形成外科学会学術集会中の4月8日(木)に予定している。

司会: 関口 順輔、内田 満

演者: 宇田川晃一、大西 清

8. その他

医療上必要性が高い未承認の医療材料・医療機器に関して、今年度は申請を行わなかったが、平成22年度は委員会で検討ののち、申請を行う。

日本手の外科学会から、改正要望を行うさいの協力依頼があり、改正要望にあたっては話し合いを行い、協力していくこととした。

11) 倫理委員会

委員長: 楠本 健司

委員: 大慈弥裕之、熊谷 憲夫、田原 真也、鳥飼 勝行、野瀬 謙介
宮脇 剛司、吉村 陽子

開催年月日: 平成21年10月1日、他メール委員会

- 主な議題: 1. 懲罰規定、倫理規範の検討
2. 処分の検討
3. 画像、動画の取り扱いの検討
4. 倫理委員会構成

活動の概要: 1. 会費滞納を除名から会員資格の喪失への定款変更を理事会へ上申。

2. 処分対象者の理事会へ上申。

3. 画像、動画の取り扱いの検討開始。

4. 倫理委員会規定に則った外部委員3名の選任。

12) 制度検討委員会

委員長: 百束 比古

委員：朝戸 裕貴、内田 満、清川 兼輔、平野 明喜、村上 正洋

開催年月日：第1回委員会 平成21年10月2日

主な議題：評議員選挙制度の改訂とくに評議員定員の格差の補正について、
評議員選挙結果の詳報公開について

開催年月日：第1回メール委員会 平成22年2月15日

主な議題：皮膚腫瘍指導専門医細則・規則について文言などの検討

開催年月日：第2回メール委員会 平成22年3月11日

主な議題：1. 皮膚腫瘍指導専門医細則・規則の最終検討
2. 専門医生涯教育制度施行細則の改定について

活動の概要：上記議題につき検討を行った（評議員会第5、6号議案及び総会
第5、6号議案として示した）。

13) 企画調査委員会

委員長：川上 重彦

委員：秋田 定伯、岸邊 美幸、小林 一夫、橋本 一郎、松浦慎太郎

開催年月日：平成21年10月2日、メール委員会を随時開催

主な議題：1. 形成外科専門医への卒後教育の現状把握
2. 科学研究費申請状況の調査継続について

活動の概要：1. 平成21年度形成外科専門医受験者に対して卒後教育に関するアンケート調査を行った。
2. 科学研究費申請状況の調査を4月以降に予定している。

<データベースWG>

部長：木股 敬裕

委員：垣淵 正男、金子 剛、小林 正弘、小室 裕造、武石 明精
田中 克己、前川 二郎、矢野 健二、山野辺裕二、山元 康徳
横井 克憲

担当理事：川上 重彦

開催年月日：データベース会議：平成21年4月22日、平成21年10月2日
データベースシステム会議：平成21年4月22日、
平成21年5月14日、平成21年6月5日、
平成21年7月3日、平成21年10月2日

その他：e-mail 委員会 20回以上

主な議題：1. システム内容
2. DBの配布
3. DBデモンストレーション
4. 今後の流れ

活動の概要：1. 開発DBの配布「7月末」
2. 10月2日に基礎学会にてデモンストレーション実施
3. 12月末に各施設に登録に関するお知らせ配布
4. 平成22年1月1日、DB運用開始
5. ホームページ上に、これまでのQ & Aを掲示

今後の予定

1) 本システムの改良に関する検討

これまでのQ & Aと寄せられた要望を元に、データベースの改良と時期、予算に関する検討を行

う。

2) 本システムに関するアンケート調査

これまでのQ & Aと寄せられた意見を参考にして、現在までの運用状況、倫理委員会の必要性、DBに関する要望などに関するアンケートを行う。6～7月中には実施。

3) 2011年の第1回目のデータ解析に関する検討

2011年2～3月にかけて、集められたデータの出力内容の検討、資料作成の検討、配布先の検討などを行う。

4) 施設認定に関する検討

2011年1月に、本システムを利用した第1回目の施設認定が行われるが、予想される問題点や改善項目などに関する検討を関係委員会に願います。

5) 入力に関する原則や、疾患・医療行為分類の改良に関する検討

これまでのQ & Aと寄せられた要望を元に、今後の改良点と時期を検討する。

6) 各種関係委員会との検討

各種委員会に対し、本システムを利用した出力要望を調査。広報関係、用語改定、ホームページ改定、各種制度の改定に関する資料作成を行う。

14) 将来計画委員会

委員長：清川 兼輔

委員：朝戸 裕貴、川上 重彦、多久嶋亮彦、野崎 幹弘、波利井清紀
平林 慎一、三鍋 俊春、山本 有平、力丸 英明

開催年月日：平成21年10月1日

主な議題：1. 基本診療科としての基礎作りについて

2. SJ誌の取り扱いについて

3. SJ誌の編集委員について

4. 歯科・口腔外科の境界領域問題について

活動の概要：1. 二階建ての専門医制度、ガイドラインの作成、データベースの集録について、迅速に進めていくことを確認した。

2. SJ誌の取り扱いについては、a) 購入部数を減らす(専門医のみ) b) 冊子体をなくし電子ジャーナルのみにする、などを今後検討していくこととした。

3. SJ誌の編集委員について検討した。さらに選出法についても検討を重ね、機関誌編集委員会へ申し送る予定である。

4. 歯科・口腔外科の境界領域問題については、耳鼻科と協力の上行っていくことが確認された。

15) 医療安全推進委員会

委員長：大慈弥裕之

委員：磯貝 典孝、岩平 佳子、酒井 成身、野平久仁彦

開催年月日：平成21年4月24日、平成21年10月2日

主な議題：医療用医薬品機器の安全性に関する情報収集およびホームページを介した会員への情報提供

活動の概要：1. 以下をホームページに掲載した

医療機器の不具合等報告の症例の好評および活用について

医療用医薬品の有効成分の一般用医薬品への転用について
処方箋検討会報告書骨子案パブリックコメント募集について

内服薬処方箋の記載方法の標準化に向けた取り組みについて

2. 医療用医薬品機器の安全性に関する情報収集について検討
形成外科・美容外科に関連のある医療用医薬品機器の薬事承認、保健収載、FDA 認可等の認可状況について調査することにした。

情報収集のためアクティブメンバーを本委員会に加えることにし、水野博司先生、萩家康弘先生、山下理絵先生が理事会で承認された。

16) 専門医統括会議

委員長：中西 秀樹

委員：朝戸 裕貴、川上 重彦、清川 兼輔、佐藤 兼重、鈴木 茂彦
平林 慎一、細川 亙、丸山 優、山本 有平、吉村 陽子

開催年月日：平成21年5月28日、平成21年7月10日、
平成21年10月2日

- 活動の概要：1. サブスペシャルティ学会専門医の名称
2. ガイドライン作成のありかたについて
3. 日本専門医制評価・認定機構の報告